

高尾から始まる新しい八王子

～ # my tastea ～

New Hachioji starting from Takao

～ # my tastea ～

チーム H for you

有路華, 石川良江, 田邊玲, 岡本友華

指導教員 水元昇

創価女子短期大学 国際ビジネス学科 水元研究室

キーワード:マイボトル, レンタルサイクル, 高尾, ゴミ削減, 地域活性化

1. はじめに

2011 年ごろから関東を中心にマイボトル普及活動に取り組む地域、マイボトルの対応店が各地で増えている。八王子市は、ごみ排出量の少ない自治体ランキング「人口 50 万人以上の都市」で全国 1 位の実績がある。(注 1)しかし、八王子市ではマイボトル対応の店が少ない。そこで、私たちはペットボトルやティクアウト用容器の削減を目指し、マイボトル持参を人が多く集まる高尾山で普及するとともに、高尾山周辺の魅力をより広めるためにレンタルサイクルサービスの実施を提案します。

2. 現状分析

①八王子市内のマイボトル推進状況

はじめにでも述べたように、2011 年より関東を中心にマイボトルの推進が進められている。近くの町田市では「マイボトルOK店」の加盟店を集め、マイボトル対応店を増やし、ガイドブックを作成し、市民に利用を呼びかけている。(注 2)また、横浜市でも同様に「マイボトルスポット」の加盟店を募集している。(注 3)現在では市内に 307 店(大型チェーン店を含む)ものお店が加盟している。そこで八王子市のマイボトル対応店を調べてみた。象印マホービンが 2006 年より取組む有料給茶サービス「給茶スポット」は、全国 150 店舗以上の加盟店があるが、八王子市には 1 店舗もない。(注 4)

②サイクルツーリズム (注 5, 6)

近年、消費行動が、商品の所有そのものに価値を求めるモノ消費から、商品の所有よりも娛樂性・体験性・物語性などに価値を求めるコト消費に変わりつつある。観光産業でも体験型観光のコト消費が注目されている。特にサイクルツーリズムは、健康面・環境面・地域と関わりを持つ手段として国土交通省でも推奨されている。【図 1】から分かるように、シェアサイクル及びレンタルサービスに力を入れている都市が増えている。

〈コミュニティサイクルの導入都市の推移〉 【図 1】

H25	H26	H27	H28
54都市	75都市	77都市	87都市

【出典:国土交通省都市局資料より整理】

※コミュニティサイクル=シェアサイクル

③高尾山の現状

高尾山はミシュラン三つ星にも認定され、東京都心からのアクセスの良さから年間を通して多くの観光客が訪問している。そんな高尾山では、ごみの持ち帰り運動が実施されており、「ごみを持ち帰ること」に加え「ごみになるものは最初から持てこないように工夫すること」が呼びかけられている実際に高尾山麓を歩いてみて、自動販売機が多数設置されている一方で、ゴミ箱が設置されていないことから、ごみの持ち帰りが推進されている

ことを実感した。また、テイクアウトの対応店が何軒かあることを発見したが、登山者がテイクアウト用カップを持ったまま登山することや、飲み終えたカップ容器を持ち歩くことは不便なのではないかと感じた。

3. 提案

高尾の現状を踏まえた上で、私たちの提案は3つある。①マイボトル対応店を増やし目印となるロゴマーク入りのシールを店舗に貼ってもらう。②高尾山口駅周辺でレンタルサイクルを実施。③みんなで作るおすすめマップの作成。

提案①

高尾駅から高尾山口駅周辺の飲食店において、マイボトル協力店を増やす。マイボトル対応店であることを示すために、作成したロゴマーク入りのシールを各店舗に貼ってもらう。

提案②

高尾山口駅周辺でレンタルサイクルを実施する。普段電車で通りすぎる場所でもサイクリングすることで新たな魅力を発見できことがある。高尾山でも、登山以外の新しいアクティビティで何回訪れても楽しい高尾山にしていくことができる。自転車は事前予約制にし、当日に交通ルールや周辺の飲食店の情報が記載されたガイドを配布する。

提案③

飲食店の位置がわかるホワイトボード(地図)を駅前に設置する。観光客の方におすすめ箇所、コメントを書いてもらいみんなで1つのマップを作成する。普段見るだけのマップも自分の手でマップの一部を作ることで、感動や体験を共有できる。

【イメージ図】



4. おわりに

この企画によって、登山者はごみを持ったまま登山をする不便さを解消することができ、ストレスなく既存のルールを実行できるようになる。高尾を今よりも美しい日本一の山にし、一度訪れたことがある人でも、訪れる度に魅力を発見出来る魅力ある街にしていきたい。また、最近では、八王子駅周辺でタピオカを取り扱うお店が増えてきている。産業廃棄物の増加を抑え、東京都の他の地域のようにポイ捨ての問題を起こさないためにも、今後は八王子市全体でマイボトルの利用者を拡大していきたい。

参考文献

【図1】 自転車の活用の推進に関する現状の取り組みについて 国土交通省

<https://www.mlit.go.jp/road/ir/ir-council/bicycle-up/01pdf/05.pdf>

(注1) 八王子市

<https://www.city.hachioji.tokyo.jp/kurashi/gomi/001/001/p024797.html>

(注2) 町田市

[https://www.city.machida.tokyo.jp/smph/kuras hi/kankyo/gomi/event/riyusotorikumu/mybottle_suishin.html](https://www.city.machida.tokyo.jp/smph/kuras hi/kankyo/gomi/event/riyusutorikumu/mybottle_suishin.html)

(注3) ヨコハマリデュースひろば

<https://r-hiroba.city.yokohama.lg.jp/torikumi/bottlespot.html>

(注4) 納茶スポット

<https://www.zojirushi.co.jp/cafe/spot/>

(注5) 国土交通省

<http://www.mlit.go.jp/road/bicycleuse/good-cycle-japan/tourism/>

(注6) 日経BP

<https://style.nikkei.com/article/DGXMZ046415730R20C19A6H91A01/>